

令和2年11月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和2年10月27日（火） 午前8時35分から午前10時50分まで
- ◇会 場 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、長野市保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・10月も下旬となり、気温も下がってきた。今年の冬は新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行が懸念されており、職員も引き続き、手洗いなどを徹底して感染予防をしっかりとお願いしたい。
- ・本日の案件にもなっている公共施設マネジメントについては、個別施設計画（案）を今年度中に策定する予定である。極めて厳しい財政状況の中、今後も持続可能な行財政運営を実現していくためには、計画の実施が不可欠である。個別施設計画の策定によって、これから10年間の道筋をつけるが、今後は計画を着実に実行し、財政負担を軽減・平準化しながら、より良い資産を次世代に引き継いでいきたいと思う。
- ・昨年の、令和元年東日本台風災害から1年が経過した。この1年、部局長はじめ職員には、被災者支援や被災施設の復旧などに尽力してもらった。復旧、復興はおおむね順調に進んでいると感じているが、引き続き、全庁一丸となって取り組むようお願いしたい。また、11月3日には、千曲川沿川の被災した市町村が連携して、「復興の花火事業」が行われる。災害からの復興祈念やボランティアへの感謝、新型コロナウイルスの終息祈願、医療従事者への感謝など、それぞれの気持ちを込めて「復興花火」を見上げてもらいたい。
- ・前回の臨時部長会議で「長野方式」について周知したが、間もなく忘・新年会シーズンとなる。市役所の各職場や関係機関などでも、感染予防対策をとった上で懇親会を開催し、行政が率先して過度な自粛ムードを変えていくようお願いしたい。

1 協議事項

（1）建築物の「長野市公共施設個別施設計画（案）」に対するパブリックコメント実施について （総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料1参照）

○質疑

- 〔市長〕新耐震基準の非木造の建物の耐用年数は、何年で計画しているのか。
- 〔総務部長〕80年で計画している。40年で大規模改修を行い、長寿命化を図っていく。
- 〔市長〕その間、途中で設備の更新などを行うということか。
- 〔総務部長〕そのとおりである。

○今後の方向性

原案を了承

（2）公共施設包括管理業務委託のサウンディング型市場調査結果について （総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑

- 〔副市長〕事業費が下がらないということは分かったが、考え方として、例えばエレベーターというくくりで、ある程度まとめて管理するということは考えた方がよい。今後、専門的に管理することについて検討して

もらいたい。

〔総務部長〕長寿命化のための予算枠や組織のことも含め、方法を検討したい。

〔副市長〕何でもアウトソーシングしてしまうと、ノウハウが外部へ流出してしまい、職員が仕事のやり方が分からないという状況にもなりかねないので、今回の結論はこれでよいと思うが、先ほど言ったような形でコスト削減を考えてほしい。

〔市長〕包括管理業務を請け負う事業者に頼り過ぎると、結果的に委託費用が高額になってしまうおそれがある。また、職員のノウハウを継承していくことも必要である。これらの点に留意して、方法を考えていく必要がある。

〔財政部長〕現在、市内企業への発注については地域性を考慮して発注しているが、包括管理業務委託を導入するとなった場合、同様に発注できるかが分からない。今後、導入する場合には、その点を検討していただきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(3)「第二期長野地域スクラムビジョン」(案)の内容及びパブリックコメントの実施について (企画政策部)

標記事項について、企画政策部長から説明し、協議を行った。(資料3参照)

○質疑

〔市長〕連携事業に対する他市町村の評価はどのようなものか。

〔企画課長〕第一期の検証を行ったところ、各市町村からは全体的に好評の声を多く頂いた。ただ、中にはうまく連携できなかった事業もあるので、第二期スクラムビジョンでは、そのような事業の見直しを行った。

〔市長〕できるだけ、他市町村にもメリットがある事業を実施していかないと、長野市のためにやっているのではないかと思われる。目に見える形で効果が出るようにしてほしい。

〔市長公室長〕今回、インバウンド関係の事業が廃止になっている。これは、国でも目標を掲げているもので、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば本市を訪れた外国人が他市町村も訪れるという効果があると思う。廃止の理由は何か。

〔企画課長〕今回、廃止とした事業のほとんどは、他の事業との統合を行ったものであり、現実には継続して実施していくものである。

〔市長公室長〕この記載では、その辺りが分からないので、表記に配慮が必要ではないか。

〔企画課長〕表記を工夫したい。

〔財政部長〕人口減少が進む中で、行政財産の共有化をこのビジョンの中で扱うことは可能か。例えば、各自自治体が全ての施設を保有する必要がなくなれば、それは良いことではないか。また、行政のデジタル化も推進する必要があるが、これも今後扱うべきではないか。

〔企画課長〕行政財産の共有化を、連携市町村全体で実施することは難しいが、他の市町村と1対1でできる場所は検討する必要があると考える。また、行政のデジタル化については、新規事業として「スマートシティ調査・研究事業」を実施する予定なので、この中で進めていきたいと考えている。

〔財政部長〕連携事業は、1対1でも実施できるので、可能などころがあるなら進めていただきたい。

〔企画課長〕検討したい。

〔副市長〕共有化の話は、総論としてはよいと思うが、個別に検討してみると難しい面もある。しかし、人口減少という背景を踏まえると、できる範囲で共有して利用するという考えの方が、お互いによいと思うので検討してほしい。また、災害時の相互協力については、昨年の経験から有事の際に他市町村のことを考えるのはおそらく無理である。そのため、平常時から有事を想定した対応方法を共有するなど、密に連携しておいてほしいと思う。

〔市長〕各部局が、所管事業の中で連携できることを考えることからヒントを得ることができると思う。そういったことも検討してほしい。

〔保健福祉部長〕生活機能の強化の中に、介護に関する記載があるが、具体的にどういう方向で検討しているのか。

〔企画課長〕具体的な案があるわけではなく、今後、連携する事業が出てくれば取り入れるというものである。

○今後の方向性

原案を了承

〔４〕「(仮称) 長野市太陽光発電設備の設置と地域環境との調和に関する条例(案)」骨子パブリックコメントの結果及び条例(案)骨子について(環境部)

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。(資料4参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

〔５〕城山公園ふれあいの森ゾーンの再整備について(都市整備部)

標記事項について、都市整備部長から説明し、協議を行った。(資料5参照)

○質疑

〔市長〕城山市民プールを駐車場にする件の合意形成は、どのようになっているのか。

〔文化スポーツ振興部長〕城山市民プールと北部市民プールについては、城山公園の再整備に合わせ、どちらか一つを残すということで、既に地元にも説明している。

〔上下水道局長〕今回の整備で、科学センターは休憩施設に用途を変えるということか。

〔都市整備部長〕ふれあいの森ゾーン全体の休憩場所として位置付ける一方で、科学センターとしての機能も保ちながら改修していくものである。

〔上下水道局長〕現在の科学センターの機能を有した上で、無料化するということか。

〔都市整備部長〕動物園の機能として補完しなければならない部分は無料にするが、科学センターの機能として残す部分は有料にするということは考えられる。

〔総務部長〕施設の複合化の話で、もんぜんぷら座内にある「じゃん・けん・ぽん」を科学センターに入れるという話があったかと思うが、これについてはどうなっているのか。

〔都市整備部長〕「じゃん・けん・ぽん」は、もんぜんぷら座の、あの場所にあるということに意味があるので、科学センターと複合化するというものではない。

〔副市長〕このタイミングで、もんぜんぷら座から「じゃん・けん・ぽん」を出してしまうと、空いた場所をどうするかという話が出てくる。将来的には分からないが、タイミングとして今ここで一緒にするというものではないと思う。

〔地域・市民生活部長〕(仮称)ながのこども館が、どのような財源を使えるかで、一緒に入れることができるものを考えていただきたい。

〔都市整備部長〕財源についても、検討していく。

〔財政部長〕財政部としては、無料の施設にするのは課題があると思っているが、方針であればやむを得ないと思う。施設内に設置する遊具だけでも、有料にしていきたい。また、駐車場は有料とのことだが、台数や収入などについて、どのように見込んでいるのか。

〔都市整備部長〕想定はしているが、滞在時間を長くして有料の遊具を利用してもらおう方向で考えていきたいので、駐車時間を気にしなければならない設定とするのか、滞在時間を延長してもらおうための配慮をするのか、今後研究の余地はあると思っている。

〔財政部長〕無料の施設にするが、駐車場は有料であるということは、最初から言っておかないと後でトラブルに

なる気がする。また、有料にすることで、周辺に路上駐車が増加するということはないのか。

〔都市整備部長〕現在は規制しているため、有料化してもそうはならないと思う。

〔副市長〕既存の駐車場、今後新たに造る駐車場は、基本的に有料化するという方針でよいか。

〔都市整備部長〕そのとおりである。

〔副市長〕その説明もあった方がよい。また、現在の動物園の遊具は年間で結構な金額を稼いでいる。科学センター内にも有料の遊具を設置して、収入を得るといった形にしてほしい。

〔教育長〕雨の日でも遊べるということを前提に、設置する遊具を考えておくべきである。

〔保健福祉部長〕有料の駐車場となると、子育て世代から一定の割引を求められる可能性がある。実際に、「じゃん・けん・ぼん」でも、そのようなことがあったので、想定しておいた方がよいと思う。

〔都市整備部長〕他の市有施設の例や、民間駐車場を圧迫しない料金を考慮して、今後検討したい。

〔企画政策部長〕今後の議会などへの説明スケジュールは、どうなっているのか。

〔都市整備部長〕議会には、11月17日の政策説明会で説明する。

〔副市長〕今後のスケジュールを、掲載しておくように。

○今後の方向性

原案を了承

（６）信州新町小学校の移転について（教育委員会）

標記事項について、教育次長（行政）から説明し、協議を行った。（資料6参照）

○質疑

〔財政部長〕過疎債の活用について、調整の状況はどうなっているか。

〔地域・市民生活部長〕教育委員会からは、この事業を最優先してほしい旨の要望をもらっている。各部署が順位付けしたものはまとめてあるが、全体としての順位は当部だけでは決定できないので、関係部局と調整して決定していきたい。

〔財政部長〕現状では、全体として希望額が多すぎるので、調整しないと、どの事業ができるのかということが分からない。予算編成にも関わることなので、早めに決める方向でお願いしたい。

〔副市長〕増築棟の図書室は、子どもプラザとして活用するとのことだが、面積的には問題ないのか。

〔教育次長（行政）〕実際に使用する子どもたちの数を考慮して算定しているので、問題ないと思う。

〔副市長〕実際の子どもプラザの活用状況を見ていると、図書室隣の多目的ホールも一緒に使っている。部屋が別々だとそれぞれに人を付けないといけないうようなので、図書室と多目的ホールをつなげ一体的に使用できるように設計しておく、プラザを管理する人員を減らすことができると思う。

こども未来部も含め、検討してほしい。

〔教育次長（行政）〕現場の意見を聞き、設計に反映したい。

○今後の方向性

原案を了承

（７）鬼無里公民館本館の移転について（教育委員会）

標記事項について、教育次長（行政）から説明し、協議を行った。（資料7参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

2 その他

(1) 住民自治協議会へのアンケート結果報告について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明を行った。（資料8参照）

○質疑

〔市長〕 アンケート結果を見ると、特に民生委員の候補者推薦が大きな負担となっている。また、役員の担い手が非常に少ない中で、事務局長に依存している状況があると思う。事務局長の手当は、公民館長などと比較して差があるが、何とかならないものか。

〔地域・市民生活部長〕 10年間、事務局長が変わっていない地区が幾つもある。その理由は、地区のことを熟知していることに加え、高い事務処理能力が求められるからである。人件費の増額要求は、これまでも行ってきたが、なかなか難しい問題である。そのため、仕事を減らすことや、いきいき運営交付金の中から人件費に充てられる部分を増やすことを検討したいと考えている。

〔市長〕 地区により事情が異なるということを考えると、特に中山間地域では支所と連携して仕事を取捨選択するというように、根本的に考え直さないといけないと思う。

〔財政部長〕 運営交付金は、10年前から積算根拠が変わっていない。そのため、実態と合っておらず、根本的に見直さないといけないと感じている。これまでも検討されていると思うが、是非、全体的な見直しをお願いしたい。

〔地域・市民生活部長〕 そのために、必須・選択事務の全庁的な見直しをお願いしている。住自協にかかる費用を改めて積算する意味でも、ゼロから見直していただくよう部局長には協力をお願いしたい。

〔市長〕 この結果を受けて、どう具体的に検討していくのか。

〔地域・市民生活部長〕 必須・選択事務について、負担軽減に向けた協議を関係部局と一つずつ丁寧に行っていきたい。また、事務局長の働き方も10年前と変わっているので、状況に合わせた見直しを行っていく。

〔市長〕 事務局長の手当は増額させる方向で考えてほしいが、財源をどう生み出すかについても併せて検討してほしい。

〔副市長〕 事務局長は住自協の要なので、何かインセンティブを付けないとうまく見直せないのではないか。

〔保健福祉部長〕 福祉関係の事務の負担が大きいと感じているようであるが、地区にお願いする事務はどうしても福祉や防災の関係が中心になってしまう。また、それらを運営するためには、地区の協力がないと大変厳しい状況がある。今後、長期計画の見直しを行う際に、地域・市民生活部の考え方と他部局の考え方に齟齬が生じないようにするための庁内体制は、何か考えているのか。

〔地域・市民生活部長〕 必須・選択事務の見直しについては、所属ごとに負担軽減に向けて協議したい。また、政策会議や部局ごとの説明を通じて、少し時間をかけて協議していきたいと考えている。

〔保健福祉部長〕 例えば、個別に住自協に説明に入って、そこである程度コンセンサスが得られたものについては、必須・選択事務に反映させて構わないか。

〔地域・市民生活部長〕 構わない。

〔保健所長〕 具体的な課題を確認することに加え、住自協の取組により、この10年間でどのような成果があったのかについての分析はしているのか。

〔地域・市民生活部長〕 現在、10年間の検証を実施中である。

〔保健所長〕 負担感や費用の面だけでなく、具体的な成果なども共有できればよいと思う。

〔建設部長〕 必須事務のうち、地区内の土木要望の取りまとめが負担に感じているということなので、建設部としても改善したいと思うが、地域・市民生活部が行う「今後の方向性の検討」と同じタイミングで行うのか、それとも別に行うのか。

〔地域・市民生活部長〕 今後、個別に相談させていただく。

(2) 長野市バイオマス産業都市の認定に向けて (環境部)

標記事項について、環境部長から説明を行った。

○質疑

〔企画政策部長〕SDGsの視点を、加えていただきたい。

(3) 長野市一般廃棄物処理基本計画の策定について (環境部)

標記事項について、環境部長から説明を行った。(資料9参照)

○質疑

〔上下水道事業管理者〕下水道計画区域内外で、合併浄化槽の設置を環境部と上下水道局がそれぞれ進めているが、人口減少が見込まれる中では事業の統合ということを今後の計画の中で検討いただくようお願いしたい。

〔環境部長〕ご指摘の点を含め、検討する。

(4) 統一的な基準に基づく地方公会計制度による財務書類の作成報告について (会計局)

標記事項について、会計局長から説明を行った。(資料10参照)

○質疑なし

以上